



このガイドでは、Oracle Enterprise Manager Fusion Middleware Control および Oracle WebLogic Server 管理コンソールを使用して Oracle Business Intelligence を管理および構成する方法を説明します。

これらおよびその他のタスクの詳細は、Oracle Technology Network の [Oracle BI EE ドキュメント](#) を参照してください。



## Oracle Business Intelligence を管理するツールについて

次のような様々なツールを使用して、Oracle Business Intelligence の各領域を管理します。

- Oracle Enterprise Manager Fusion Middleware Control
- Oracle WebLogic Server 管理コンソール

## Oracle Enterprise Manager Fusion Middleware Control

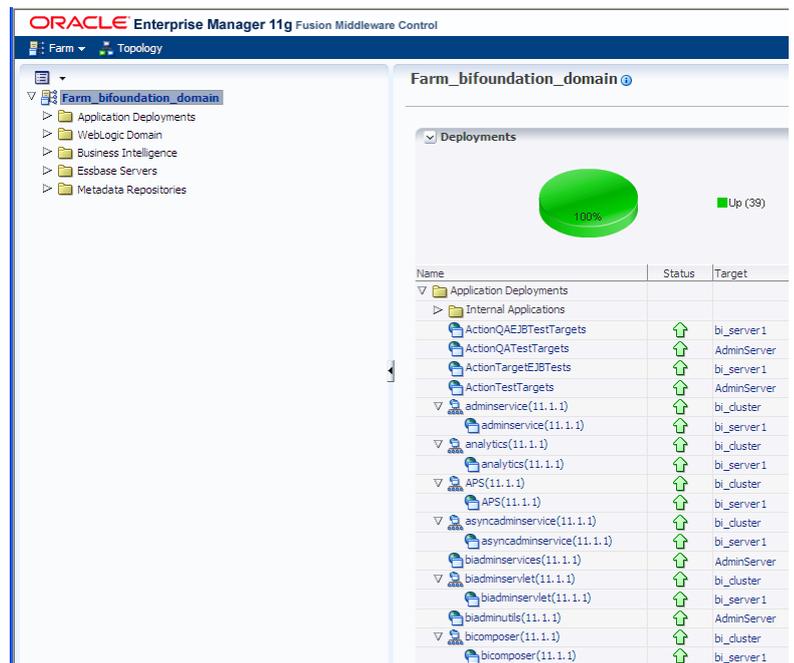
Fusion Middleware Control は、Oracle Business Intelligence コンポーネントの監視、管理および構成用の推奨されるブラウザベース・ツールです。

Fusion Middleware Control では、次のことが行えます。

- すべてのシステム・コンポーネントおよび管理対象サーバーの起動、停止および再起動
- プリファレンスおよびデフォルトの構成
- システム・コンポーネントのスケール・アウト
- システム・コンポーネントの高可用性構成およびステータスの実現
- パフォーマンスおよび監視のシステム・メトリックの管理
- 診断およびロギングの実行

また、Fusion Middleware Control は、Oracle Business Intelligence の Java コンポーネントの監視および管理を行える Oracle WebLogic Server 管理コンソールへのアクセスも提供します。

Fusion Middleware Control は、管理サーバーの実行中のみ使用できます。



## Fusion Middleware Control のナビゲーション・ツリーについて

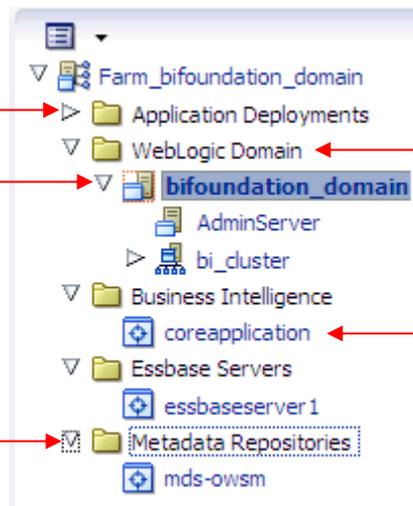
ナビゲーション・ツリーでは、Fusion Middleware Control による管理が可能な BI ドメイン内をナビゲートできます。

BI ドメインにデプロイされたすべてのアプリケーション(分析、Oracle Business Intelligence for Microsoft Office、Oracle BI Publisher、Oracle Real-Time Decisions など)が表示されます。

次により、Oracle Business Intelligence の WebLogic サーバー・ドメインを表します。

- 管理サーバーが含まれる AdminServer ノード
- 管理対象サーバーが含まれる bi\_cluster ノード(デフォルトでは単一ノード・クラスタ)

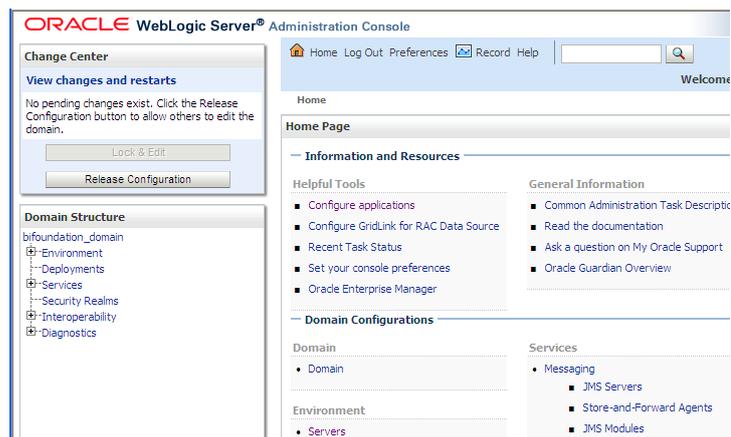
Fusion Middleware Control を使用して管理可能な Metadata Services (MDS)のスキーマ・リポジトリを表します。



WebLogic サーバーのサマリー情報が表示されます。ノードを選択して Oracle WebLogic Server 管理コンソール・リンクをクリックすると、Oracle WebLogic Server の管理が可能な WebLogic Server 管理コンソールが表示されます。

Fusion Middleware Control を使用して管理可能な Oracle Business Intelligence のシステム・コンポーネントを表します。このノードを選択して「概要」ページを表示した後で、システム・コンポーネントを管理します。

## Oracle WebLogic Server 管理コンソール



Oracle WebLogic Server は、Oracle Business Intelligence の Java コンポーネントを堅牢でセキュアな、可用性が高いスケーラブルな環境でデプロイすることをサポートする Java EE アプリケーション・サーバーです。

Oracle WebLogic Server 管理コンソールでは、次のことが可能です。

- JEE サーバーの状態およびパフォーマンスの監視
- WebLogic サーバー・ドメインの構成
- JEE サーバーの停止と起動
- JEE サーバー・ログの表示
- Oracle WebLogic Server の LDAP サーバー内のユーザー移入の管理

## Fusion Middleware Control を使用した Oracle Business Intelligence の管理

### Fusion Middleware Control へのログイン

1. Web ブラウザを開き、Fusion Middleware Control の URL を次の形式でアドレス・バーに入力します。

<http://hostname.domain:port/em>

ポート番号は管理サーバーの番号で、デフォルトのポート番号は 7001 です。

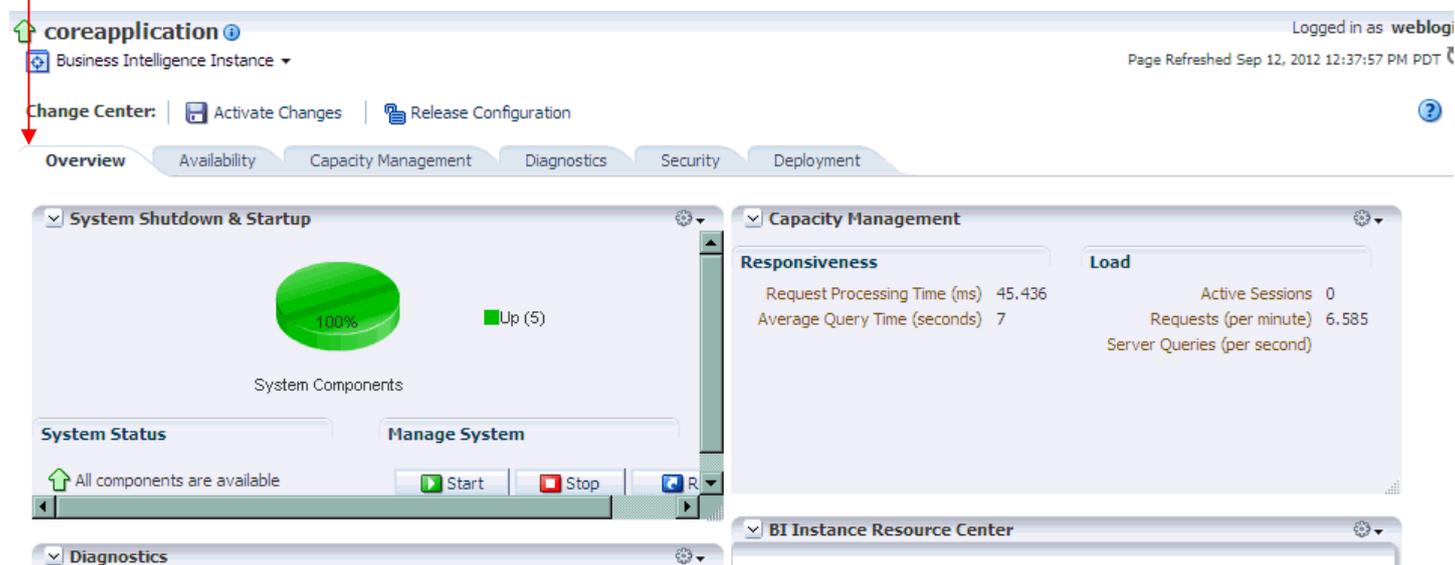
2. システム管理者のユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。  
このシステム全体の管理ユーザー名とパスワードは、インストール・プロセス中に指定したものです。



### Oracle Business Intelligence のシステム・コンポーネントの管理

「概要」ページでは、現在の可用性、パフォーマンス、BI ドメイン内で特定された問題に関する情報を提供することで、システムの現在のステータスが表示されます。

1. Business Intelligence フォルダを開き、coreapplication ノードを選択します。「概要」ページが表示されます。
2. 「概要」ページから、Oracle Business Intelligence 管理タスクの実行用の適切なタブを選択します。



## Oracle Business Intelligence の Java コンポーネントのステータス監視、および起動と停止

1. WebLogic Domain フォルダを開き、bifoundation\_domain ノードを選択します。これは、Oracle Business Intelligence の Java コンポーネントのステータス監視、および起動と停止の開始ポイントです。
2. bifoundation\_domain ページを使用すると、次の Oracle Business Intelligence 管理タスクを実行できます。
  - 管理サーバーおよび管理対象サーバー(bi\_server<n>)のステータスの表示
  - WebLogic ドメイン・メニューの「制御」オプションを使用して、選択した Java コンポーネント(管理サーバーまたは bi\_server<n>)を起動および停止します。
  - WebLogic サーバー・ドメインを管理および構成するために、WebLogic Server 管理コンソールを起動します。詳細は、[「Oracle Business Intelligence の Java コンポーネントの管理」](#)を参照してください。

The screenshot shows the Oracle Enterprise Manager 11g Fusion Middleware Control interface. The main content area is titled "bifoundation\_domain" and contains several sections:

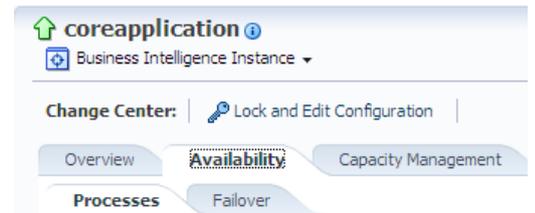
- Summary:** A "General" section with the following details:
  - Administration Server: AdminServer
  - Administration Server Host: adc00cam.us.oracle.com
  - Administration Server Listen Port: 7001
- Servers:** A section showing two servers: "AdminServer" and "bi\_server1". Both are marked as "Up" with green circular progress indicators showing 100%.
- Clusters:** A table showing one cluster named "bi\_cluster" with 1 server.
- Deployments:** A section showing various application deployments, including "ActionTargetEJBTests", "ActionTestTargets", and "adminservice(11.1.1)".

At the bottom, a table provides detailed information for the servers:

Name	Status	Host	Cluster	Listen Port	Active Sessions	Request Processing Time (ms)
AdminServer	Up	adc00ca...		7001	1	37
bi_server1	Up	adc00ca...	bi_cluster	9704	0	12

## Fusion Middleware Control を使用した構成設定の更新

1. Business Intelligence の「概要」ページに移動し、適切なページとタブを選択して、変更する設定を表示します。
2. 「構成をロックして編集」をクリックします。  
**注意:** システムの構成設定を更新するには、事前に「構成をロックして編集」をクリックする必要があります。
3. 各ページを必要に応じて変更します。たとえば、「容量管理」ページの「パフォーマンス」タブでは、問合せキャッシュ・パラメータを設定できます。
4. 変更後は、各ページで「適用」をクリックします。  
**ヒント:** 変更を元に戻す場合は、「構成の解放」をクリックして、「構成をロックして編集」をクリックした後に加えたすべての変更を取り消すことができます。
5. 更新の完了後は、「変更のアクティブ化」をクリックして変更を実行し、ロックを解除します。
6. 「概要」ページに移動して、「再起動」をクリックします。



## Oracle WebLogic Server 管理コンソールを使用した Oracle Business Intelligence の管理

### Oracle Business Intelligence の Java コンポーネントの管理

1. WebLogic Server の管理サーバーが起動していない場合は起動します。
2. 次の手順で、Oracle WebLogic Server 管理コンソールを表示します。
  - a. Fusion Middleware Control を表示します。
  - b. WebLogic Domain ノードを開き、bifoundation\_domain を選択します。
  - c. 「サマリー」リージョンの「Oracle WebLogic Server 管理コンソール」リンクをクリックします。Oracle WebLogic Server 管理コンソールのログイン・ページが表示されます。
3. システム管理者のユーザー名とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。  
プロキシ・サーバーに HTTP リクエストを送信するようにブラウザが構成されている場合は、管理サーバーの HTTP リクエストをプロキシに送信しないようにブラウザを構成する必要がある場合があります。管理サーバーがブラウザと同じコンピュータ上にある場合は、localhost または 127.0.0.1 に送信されるリクエストがプロキシに送信されないことを確認してください。
4. Oracle WebLogic Server 管理コンソールで、Oracle Business Intelligence の Java コンポーネントの監視および管理を行う bifoundation\_domain ページを選択します。